

写真：梅の花（岡山県 半田山植物園）

## みやぎBMW技術協会 プラント巡回報告

～資源循環型農業推進プロジェクトの取り組みが活かされた生物活性水の活用～

2025年12月19日（金）、宮城県内にてみやぎBMW技術協会のBMWプラント巡回を行いました。

巡回には、みやぎBMW技術協会の西塚忠樹会長に同行していただきました。

みやぎBMW技術協会のメンバーは、生活協同組合あいコープみやぎの生産者です。2023年から始まった資源循環型農業推進プロジェクトで、土づくりと堆肥作りを一から学び、種堆肥（菌体）から堆肥作りを実践しています。今回の巡回ではその成果を実感することができました。

### ◎社会福祉法人みんなの輪

あいあいファームわ・は・わ  
田尻（宮城県大崎市）

社会福祉法人みんなの輪は、「障害のあるなしにかかわらず、誰もが安心して暮らせる、地域社会を目指して」を理念に、2002年より宮城県内にて障害のある方々に対するサポートを行っています。

「わ・は・わ」は、人と人との「輪」  
人と自然との「和」、ワ・ワ・ワ  
と読みます。

あいあいファームわ・は・わ田尻では、子豚の肥育150頭、肉用母牛12頭を飼養しており、利用者の皆さんと一緒に飼育を行っています。BMWプラントは飲水改善と生物活性水が設置されています。生物活性水の原料は作業所の浄化槽からの処理水と、有機物が少し足りないのが自家製の堆肥の浸みだし液も使っています。生物活性水は飲水への添加、豚舎への散布、堆肥づくりの発酵促進と水分調整に活用しています。

プラントは4tのFRPタンクが5槽、生物活性水のECは1.24 mS/cm、pHは6.34でした。この生物活性水はpHが低くなりがちでしたが、堆肥を原料に加えることによって改善されています。

この農場では豚をバイオベッドで飼育しているので、床に使用する

る堆肥づくりが肝心です。堆肥は一度使ったバイオベッドの床を再度発酵させています。担当の渡辺和弘さんは、米糠やもみ殻の混ぜ込む量、水分と温度、切り返しの時期など試行錯誤を繰り返しながら堆肥を作っています。ご本人は「最近なんとなくコツを掴んできて、いい感じに作れるようになってきた」とのこと、完成した堆肥を見せていただきましたが、同行した西塚さんが「是非この堆肥を分けてもらいたい」という程のいい仕上がり具合でした。

### ◎社会福祉法人みんなの輪

ひなた農場（宮城県大崎市）

ひなた農場は母豚200頭の一貫生産の養豚場です。以前は日向養豚として養豚をされていましたが、代表をされていた日向一郎さんの引退を期に、みんなの輪が引き継ぎ、利用者の皆さんも飼育作業を行っています。

この農場には生物活性水プラント



わ・は・わ田尻あいあいファームの渡辺さん



あいあいファームのバイオベッドでくつろぐ子豚



ひなた農場の生物活性水プラント



ひなた農場の堆肥発酵槽



大郷グリーンファーマーズ  
小松菜の根を見る熊谷さん



丁寧に作られた堆肥を見る熊谷さん



七郷クローバースファームでプラントを  
管理する相澤さん（左）と真壁さん



クローバースファームの堆肥 米糠全快



みやぎBM 西塚会長（左）と細谷さん

トが設置されています。生物活性水の原料は豚尿処理水で、できあがった生物活性水は飲水への添加、豚舎へ散布などに活用しています。プラントは4tのFRP槽が5槽、最終槽には飲水への添加装置が設置されていて、約100倍で飲水に添加されています。生物活性水のECは0.77mS/cm、pHは8.23でした。

### ◎大郷グリーンファーマーズ

（宮城県大郷町）

農場長の大内芳裕さんは「あいこープ地域資源循環型プロジェクト」に参加して以来、わ・は・わ田尻の渡辺さん同様に試行錯誤しながら堆肥を作っています。豚舎の敷材をおが粉から粉殻の割合を増やし、水分調整に気をつけながら発酵槽に豚糞を投入する際にも粉殻を混ぜるなど、確かに以前より堆肥の出来具合が良い仕上がりが状態で、すでにこの堆肥を利用して西塚さんも嬉しそうでした。

堆肥場にはロータリ式の攪拌機を備えた堆肥発酵槽がありますが、生物活性水を添加できていない課題があります。堆肥場がプラントのある本農場から公道を挟んで反対側にあり、距離もあります。

貯留槽を設置するなどの案はありますが、実現できていないので、大内さんと相談しながら解決できるように進めていきたいと思っています。

おり、担当の熊谷剛介さんは種堆肥づくりに励んでいます。完成した堆肥を試験的に施用したところ、小松菜の虫食いが減り、甘みも増しました。しかし堆肥を作る場所が狭いため、すべての栽培に使用できないことが課題になっています。今年は堆肥を作る場所の確保と、茨城BMのように応用型生物活性水を作って、小松菜栽培に活用していけるようにすることでした。

### ◎七郷クローバースファーム

（宮城県仙台市若林区）

クローバースファームはトマト（ミニ、中玉、大玉）、ほうれん草、玉ねぎ、人参、長ネギ、雪菜など多品目の野菜と米の生産を行っている農業生産法人です。

BMプラントは、生物活性水が設置されており、原料はクローバースファームで作っている馬糞を主体とした堆肥です。プラントは5tのFRP槽が5槽、生物活性水のECは1.12mS/cm、pHは7.8でした。クローバースファームの生物活性水は、トマトなどハウスで

の栽培作物への常時添加、苗を定植する時のドブ漬けなどに使用しているほか、あいこープみやぎで組合員向けに販売されている生物活性水、あいこープミートセンターの簡易排水処理への添加にと幅広く活用されています。

プラントの管理は、社会福祉法人みんなの輪わ・は・わ若林とクローバースファームが共同で管理しています。わ・は・わ若林の利用者の皆さんは、あいこープで販売される生物活性水のボトリングと、あいこープミートセンターの簡易排水処理に使用する生物活性水をポリタンクに詰める作業を行っています。プラント管理をされている、みんなの輪の相澤正人さんとクローバースファームの眞壁敦也さんは匠集団そらとLINEグループを作り、管理報告を常に画像で共有し、何か問題があればすぐに相談し合える仕組みになっています。そのお陰で生物活性水の状態は数値を含めて安定しています。

一方、堆肥づくりは代表の細谷滋紀さんが頑張っています。本人曰く、「最初はあまり乗り気ではなかった」資源循環型農業推進プロジェクトに参加してから、堆肥づくりに目覚め、以前は仙台市内の乗馬クラブから受け入れていた馬糞を積んで何となく発酵させていただけでしたが、今では切り返しの度にマニユアスプレッダーを使い、生物活性水を水分調整に使うなど丁寧に堆肥を作っています。今年からは馬糞の受け入れを倍にして、今より製造量を増やして畑に使用していくとのことでした。

（報告：BMW技術協会事務局 秋山澄兄）

## 韓国 B M水コリア訪問報告

1月20日～21日の2日間、韓国を訪問しました。

一)の事務所は、窓ガラスが割れて部屋まで浸水するなど被害がでて、しばらくの間は電気も通信回線も不通になっていたそうです。 balan ゴンバナナやサトウキビの生産者は地域によって差はありますが、甚大な被害に遭っているとのこと、しばらくの間はバナナの出荷もできないとのことでした。

BMW技術協会では、昨年の2月に若手生産者を対象にネグロスツアーを開催し、KFRCに泊まり、卒業生の一人で

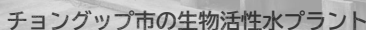
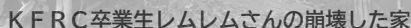
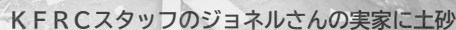
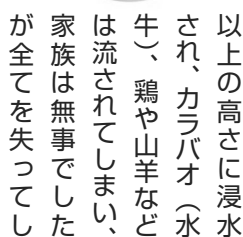
大きな被害に遭ったノノイさんの農場を訪れました。その辺りがすべて泥で埋まってしまったとのことですが想像がつかません。被害に遭った方々にお見舞いを申し上げると共に一刻も早く復旧できることを願っています。

(報告：BMW技術協会事務局 秋山浩吉)

ネルさんの実家に土砂



ムさんの崩壊した家



## 農家の皆さんが記載していく生物活性水の使用量

同士や消費者との交流が行なわれていま  
 せん。ＢＭ水コリアとしては、韓国ＢＭ  
 協会の活動を今一度活性化させて、ＢＭ  
 Ｗ技術の普及拡大をしていきたいという  
 希望があります。

誰が主体となって協会の運営をしてい  
 くか、活動資金をどうしていくかなど課

抜き取った生物活性水の量を必ずノートに記載していきます。

このように多くの農家に活用されていますが、韓国ＢＭ協会の活動は停滞しており、生産者の声を聞くことや、生産者

農業技術センターにBMプラントが設置されると、管内の農家は基本無料で生物活性水を利用できる仕組みになっていて、どのセンターでも20軒以上の農家が活用しているとのことでした。利用者は

韓国 B M水コリア訪問報告

1月20日～21日の2日間、韓国を訪問しました。

淳昌郡農業技術センターは日生産量2tの生物活性水プラントで、主に管内の野菜・果樹農家の利用が多く、その他に養鶏場など畜産農家の利用がありました。

局（報告 BMW 技術協会事務 秋山澄兄）

## 第25回BMW技術基礎セミナー

### 「オープンフォーラム」

これからの食と農新しいカタチを求めて

■日時 2月26日(木) 基礎セミナー

会場 東京神田エッセム本社ビル

4階「こだまホール」

2月27日(金) オブション視察

視察先 茨城BMの若手生産者の圃場

(茨城県)

第25回BMW技術基礎セミナーは、オープンフォーラムとして開催します。

■基調講演「これからの食と農」新しいカタチを求めて」

【講師】

東京大学大学院・農学生命科学研究科

特任教授 鈴木宣弘氏

鈴木教授を講師にお迎えし、令和の米騒動といわれる米価高騰、農政の対応、生産者と消費者の動向を踏まえ、日本の食料・農業の本質と裏側について突っ込んだお話しや、これからの食と農についての課題、問題提起を聞かせていただきます。鈴木教授は農業経済学の第一人者として、安全な食を支える農林水産業の振興と地域の活性化に尽力されています。著書は、「食の属国日本」、「世界で最初に飢えるのは日本」、「コメ・ショック」、「令和の米騒動」など多数あります。

■オープンフォーラム

講演後には鈴木教授にも参加していただきオープンフォーラムを開催します。

日本の食を支える農業は、担い手不足や

過疎化、獣害被害、資材高騰、飼料高騰、畜産疫病、そして気象変動などの大きな問題を抱え、いま危機的な状態にあり、それは日本の「食」、すなわち私達のくらしそのものが危機に晒されている状態です。

フォーラムでは「これからの食と農」

について農家、生協、消費者からパネラーを迎え、参加者の皆さんと意見交換を行います。そして多くの意見の中から共通点を見だし、「新しいカタチ」を提起できればと思います。

「新しいカタチ」とは、作る人がいて食べる人がいる、食べる人がいるから作る人がいる、お互いに相互理解を深め「ものづくり」をおこなっていく、「技術」を高めていくという私達の原点を基に、「これからの食と農」の在り方について、探求する機会になることを願っています。

■BMW技術事例報告

あいコープ資源循環型農業推進プロジェクトと、昨年ブレ実験を行なった若手生産者の取り組みの報告を行ないます。

■懇親会 1日目終了後、セミナー会場の近くで懇親会を開催します。会場は当日ご案内します。

■オブション視察

2日目は茨城BMの若手生産者の圃場での視察を行います。

昨年11月の全国交流会に参加できなかった方や、参加したけれど視察には参加しなかった方を対象に、BMW技術(生物活性水)の可能性を探究する若手生産者の取り組みを視察します。

■参加費

①1日目 基礎セミナー 3,000円

★オンライン有り 3,000円

②懇親会…6,000円

③宿泊…12,000円(シングル/朝食付)

朝食付)

\* 神田グランドセントラルホテル

④2日目視察…12,000円

東京駅と茨城(石岡駅) 往復交通費、茨城県内バス移動費、昼食代が含まれます。

◎視察先 フジファーム、ひらさわ

ファーム、茨城BM・清水

牧場、Leeks(矢萩

農場)の4カ所。

■申込方法は、所定の申込用紙に記入の上、FAXまたはメールにて申込みをお願いいたします。

申込み締切り…2026年2月20日

(金)まで延長しました。

開催案内と参加申込書は左側の2次元バーコードよりダウンロードして、申込書の記載をしてからメールまたはFAXでお申し込み下さい。

ダウンロードできない方は、BMW技術協会事務局(担当…佐々木・秋山)までご連絡をお願いいたします。

電話…03-5211-0681



こちらから第25回BMW技術基礎セミナー開催案と参加申込書がダウンロードできます。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

第35回BMW技術全国交流会は、11月25日(水)〜26日(木)、「岡山県岡山市」で開催することが決定しました。

昨年開催された、第34回BMW技術全国交流会にて、恒例となっていた次の開催地の発表が事情によりできませんでした。そのため全国交流会が終わった後、岡山県の三美産業、そして西日本BMW技術協会とグリーンコープ連合会と話しを進めさせていただき、岡山での開催を決定することになりました。

実行委員会は、三美産業、グリーンコープおかやま、グリーンコープ連合会、西

日本BMW技術協会、BMW技術協会構成します。キックオフミーティングは、4月16日(木)に開催予定。交流会に向け準備をすすめていきます。日程と会場はすでに決まっておりますので、皆様のスケジュールの確保をお願いいたします。

■開催概要(決定事項のみ)

日時11月25日(水)

◎午後〜交流会・懇親会  
26日(木)

◎午前中〜交流会  
午後〜オブション視察

会場…岡山国際ホテル(岡山県岡山市)今後、実行委員会や学習会の報告など、AQUA「BMW技術全国交流会への道」で報告をしていきます。

開催案内は7月下旬に皆様のお手元にお届けする予定です。



## 西日本BMW技術協会からの報告

### ◆西日本BMW技術協会

#### 第1回役員会報告

昨年12月16日(火)、福岡市内のグリーンコープの会議室で2026年度・第1回役員会を開催しました。出席者は、浦克稔会長をはじめ役員15名、事務局1名、オブザーバーとしてBMW技術協会の秋山澄兄事務局長、南阿蘇村役場農政課の緒万氏と小林氏です。

最初に事務局より生物活性水の供給状況、会員動向、会費の入金状況を報告しました。その後、役員の皆さんに近況報告をいただき、BMW技術協会の秋山事務局長からは、11月に開催された全国交流会に食材提供のお礼と、2月に開催される第25回BMW技術基礎セミナーの開催概要(詳細は4ページ)、茨城BMの生



第1回役員会にて挨拶をする、浦克稔会長

産者のオプシオン視察についての説明が行なわれました。またベトナムでのBMW技術の普及状況についての報告がありました。

次に、次年度(2026年度)の総会・研修会の開催場所、内容について以下のように確認しました。

◎第34期(2026年度)研修会総会の場所、内容について

・現地研修&座学の開催場所

① 現地研修…長崎県南島原市(産直南島原の生産者の松尾さんが新たに建設している堆肥場の視察)

② 座学…BMW技術の基礎(BMW技術協会の秋山事務局長が講師に)

本来は現地視察(南島原市)周辺で座学、懇親会、宿泊までをセットで行ないたいのですが、できる場所がありません。そのため、現地研修会を行った後、島原市へ移動して座学、懇親会、宿泊まで行いたいと考えています。

※今年に入り、6月29日(月)に島原市の「HOTELシーサイド島原」にて座学と懇親会の開催を決定しています。

◎次年度の方針などについて意見交換

2025年度の方針と同じ進め方でいくことを確認しました。

◎第35回BMW技術全国交流会について

BMW技術協会より、2026年11月のBMW技術全国交流会は岡山で開催するとの報告がありました。実行委員会の軸となる三美産業は、今期より西日本BMW技術協会の会員です。西日本エリアでの開催ということもあり、西日本BM

W技術協会として全国交流会のお手伝いをしたいと考え、次の提案を行ない承認されました。

・西日本BMW技術協会役員より、実行委員を数名選出する。

実行委員は浦克稔会長、菅原一真さん、清村徹さん、近藤洋之さんの4名

・全国交流会当日のお手伝いは改めてお願いする。

・全国交流会での発表は全体が決まってから相談する。

最後に会員が全国交流会に参加しやすいよう、補助や助成があればというご意見をいただいたので、4月に開催予定の第2回役員会で相談・検討できるように事務局が準備することになりました。

なお、第2回役員会は三美産業との交流を踏まえ、岡山での開催を事務局が検討することになりました。

(報告西日本BMW技術協会事務局長秦武士)

### ◆グリーンコープ生活協同組合連合会

若宮物流センター、福岡青果センターの中水利用プラントの定期点検報告

1月23日(金)グリーンコープ生活協同組合連合会の若宮物流センターと福岡青果センターにある中水利用プラントの定期点検とリアクター塔の充填材の交換作業を行いました。匠集団そらの秋山澄兄氏、三美産業の井上正樹氏にグリーンコープBM事務局の秦が同行しました。

このBMプラントは合併浄化槽で一次処理した物流センターの排水を、中水利用プラントで高次処理することで、トイレ

の流し水として再利用しています。

若宮物流センターでは、EC、pH、亜硝酸態窒素の測定を行い、ECは、1.30~1.45 mS/cm、pHは5.7~6.2でした。亜硝酸態窒素は、1槽目で検出し、2槽目と最終槽は検出されませんでした。

次に福岡青果センターへ移動し、若宮物流センターと同じ点検を実施しました。ECは、1.01~1.07 mS/cm、pHは3.8~3.7でした。亜硝酸態窒素は、若宮センターと同様に、1槽目で検出し、2槽目と最終槽は検出されませんでした。両センターの中水(最終槽)は、濁り(微細SS)もなく、透明感があり、臭気もない良い状態でした。福岡青果センターの方はpHが低いため、2月にもう一度訪問し、石灰岩を投入することになりました。

(報告グリーンコープBM事務局秦武士)



水質測定を行なう、井上さんと秦



## ファーマーズ・クラブ雪月花（北海道） 伊藤達矢さん



— 高校卒業して自宅に就農したのですか。

はい、高校を卒業して自宅に就農しました。そのころ、1990年ころは、田んぼは12haくらいでした。面積もそれほどはないので、しばらくは田植えや稲刈り時期以外はアルバイトをしていました。まあ、手伝いということになります。

私が30歳くらいのころ、私の弟に子ども（父の孫）ができて、父はすっかり「じいちゃん」になってやる気をなくしてきました。それから私が農作業の主体になっていきました。そのころからは夏のアルバイトは

培で化成肥料だけを使っていました。

市川さんから「いろんな栽培があり、除草剤1回や無農薬が今後は主流になっていくし、コメの値段もいろいろあるよ」という誘いでした。私は「分かりました。せっかくのお誘いなので雪月花に入ります」ということで雪月花に入りました。

でも、その頃は親父の経営だったので、あまり自由にはできませんでした。雪月花に入って3年目くらいに、除草剤1回、元肥も追肥も100%有機の栽培を1haの田んぼでやってみました。資材は、赤とんぼ（米沢郷牧場）の「エコライス」を使い、元肥に指定された量より多く、窒素分で14kgになるようにして、追肥もしました。これだけやっても、慣行栽培と同じ反収8俵くらいでしたので、しばらくやめました。経営が親父だったこともあり、あまり自由にならなかったのです。35歳くらいになり、自分の自由がきくようになって、改めて除草剤1回の栽培を始めて、翌年から無農薬栽培にしました。そして2025年産でJAS有機の申請をしました。

— 生物活性水をどのように使っていますか。

育苗に使っています。カツオエキスの液肥と一緒に希釈して使っています。苗の状態は根張りも良く、強くなったと思います。それから、追肥の時に堆肥や液肥と一緒に散布しています。そして、防除目的で使う木酢と一緒に希釈して散布します。

小学校1年の長男が、学校で朝顔を栽

伊藤達矢さんは、1982年10月生まれの43歳で、北海道妹背牛町の米農家です。伊藤家の3人兄弟の長男に生まれました。伊藤家は富山県から北海道に来て、伊藤さんで4代目だそうです。

妹背牛小学校、妹背牛中学校を出て、深川東商業高校に進みました。サッカーをやっていたのですが、近辺でサッカー部があるのは、この高校だけだったそうです。

高校の時のサッカー部の成績はそれほどでもなかったのですが、卒業しても社会人のチームでサッカーをやっていたそうです。あと少して、コンサドーレ札幌と試合ができるころまで行っただけですが、実現しませんでした。その後は深川市のフットサルの大会に出たりして、30歳前まではサッカーをしていたということですが、農協青年部でだんだん忙しくなり、やめてしまいました。

やめて、冬の除雪のアルバイトは続けて、今でもやっています。3年前、私が4歳の時に名義も含めて私に農業経営を移しました。田んぼの面積は徐々に増やして、現在は24haになっています。

— 雪月花に誘われたいきさつとその後を教えてください。

私が30〜31歳のころ、市川智さんに誘われました。市川さんには町内でお世話になっていました。それまでは、慣行栽

培しており、夏休みの前に先生が、みんなに「枯れかけているので家で大事にするように」と言われて持って帰りました。

毎日のように生物活性水をかけて、とても勢いがある状態で学校に持って行きました。そうしたら、先生から「何を使っただらこんなに元気になるの」と聞かれたので、私は「魔法の水です」と答えました。うれしかったですね。

——奥さんと子供さんのことを聞かせてください。

結婚は2018年、私が36歳のときです。飲み屋のお客さん同士で知り合いました。仕事はラジヘリの事務員をしていました。子どもは男の子2人です。長男が今7歳・小学校1年生です。次男が6歳で今年小学校に入学です。

妻はサラリーマンの家庭に育ったので、農家の仕事はなじみがないはずですが、ダンブでもトラクターでも乗って一生懸命やってくれています。長男には農家を継いでほしいのですが、本人は、い

まのところ「ユーチューバーになりたい」と言っています。

保育園の畑を園児たちがやるのに、種まき、苗の植え付けなど、雪月花としてサポートしています。自分が行くと息子達はとても喜んでくれます。そんなことも通じて農業に関心を持ってもらいたいです。

——伊藤さんの田んぼなどはどうなっていますか。

田んぼの面積は、現在24haで、全部で10枚あります。一番狭い田んぼが1.1haです。そのうちJAS有機は1枚で3.7ha、無農薬栽培は3.0ha、除草剤1回は7.2ha、慣行栽培は約10haくらいです。このうち16ha分くらいを雪月花に出荷しています。残り8haはJAと業者です。

この田んぼを妻と2人でやっています。田植えや稲刈りは父母が手伝ってくれます。父母は、普段は孫の面倒を見てくれています。

——伊藤家は、力自慢の家系だそうですね。

祖父も父も依あげの大会では優勝するような、腕力自慢の家系です。祖父と祖母は96歳・93歳で、父母も健在です。私たちも含めて3世代で自分の足で歩けるのは妹背牛では伊藤家だけです。うちは4世代で生活していることになりました。祖父は体力もあるのですが、食欲もあります。「寿司を食いたい」ということだったので、すし屋に連れて行ったが、「もつそれくらい」というように食べて元氣です。

——これからやりたいこと、まず伊藤家のことを聞かせてください。

昨年（2025年）の栽培で有機JASをぜひ取りたいと思っていましたが、認証されたので、ほっとしています。それから、除草剤1回の栽培を増やしていきたいと思っています。

いろんな意味で魅力ある農業にして、子供に「やっても良いな」と思ってもらえるようにしたいです。

——それから、雪月花についてですが、今は田村さんが代表ですが、今後の雪月花を担っていくという意味で伊藤さんに対する期待は大きなものがあるようですが、どうですか。

いずれ自分を中心というより、私たちの年代が雪月花の中心になればよいと思っています。そのためにはまず若いメンバーを増やしたいです。現在のメンバーの後継者も雪月花のメンバーとして雪月花の将来を一緒に考えたいと思います。

栽培方法、レベルという意味では、全員が有機JASを取ってもらいたいのです。有機JASや無農薬栽培のお米の需要はあると思います。まずは無農薬にしてその先にJAS有機と思っています。

有機JASや無農薬を増やすと、それを評価してくれるような売り先を増やさないといけないので、BMW技術のネットワークも活用して増やして行きたいと思っています。

——これから楽しみですね。ありがとうございました。

◎聞き手 西日本BMW技術協会 宮崎利明

## ◎全国交流会記録集について

第34回 BMW技術全国交流会記録集は各発表の内容詳細として、各発表者の資料データと質疑応答を含む発言をすべて掲載しています。

発行は今年の2月を予定しており、匠集団そらが販売します。お求めはAQUAに同封（メールの場合は添付）されている、購入申込み用紙にてお申込みをお願いいたします。この用紙からお申込みの場合は、通常の販売価格よりお得な価格でご購入できます。WEBSHOPからもご購入いただけます。

## ◎書籍のご案内

### 「BMW糞尿・廃水処理システム」

BMW技術協会顧問の長崎浩氏著書で、農文教の民間農法シリーズから発行されている、「BMW糞尿・廃水処理システム」。BMW技術協会・匠集団そらのホームページのWEBショップでご購入できます。BMW技術のバイブル、この機会に是非、お求め下さい。

民間農法シリーズ  
自然の自浄作用を活かす  
**BMW糞尿・廃水  
処理システム**  
長崎浩著



WEBショップはこちらから

## 事務局だより

BMW  
技術協会  
&  
匠集団そら2026年  
1月  
JAN 1  
2026年  
2月  
FEB

## 「1月の活動」

5日 仕事始め

岡山県岡山市のグリーンコープおかやまを訪問、第35回BMW技術全国交流会の開催に向けて打合せ、同市の岡山国際ホテルにて全国交流会の会場下見

6日 静岡県静岡市の村上園にてプラント点検と茶加工工場の監査

9日 大分県中津市の耶馬溪ファームにて定例建設会議に出席

14日 東京都品川区で開催された、パルシステム農法研究会と賀詞交歓会に出席

20〜21日 韓国のBMW KOREA、韓国BM協会を訪問

22日 福岡県福岡市で開催されたグリーンクラブ新年のつどいに出席

23日 福岡県宮若市のグリーンコープ連合会若宮センター、筑紫野市のグリーンコープ連合会福岡青果センターにてプラント点検

24日 長崎県南島原市の産直南島原にて堆肥センター設置の打合せ

27日 オンラインにてBMW技術協会常任理事会と匠集団そら取締役会を開催

29日 埼玉県飯能市の生活クラブたまご飯能GPセンターにてプラント点検

## 【6月の予定】

1日〜3日 第34回BMW技術全国交流会記録集の編集作業

4日 山梨県甲府市で開催される、やまなし自然塾の賀詞交歓会に出席

5日 宮城県仙台市で開催される、あいコープ農法研究会の総会に出席

6日 大分県中津市の耶馬溪ファームにて定例建設会議に出席

9日 第34回BMW技術全国交流会実行委員会を開催

16〜20日 大分県中津市の耶馬溪ファームにてプラント設置工事

19〜20日 宮城県仙台市で開催されるあいコープ共生会の総会に出席

21日 東京都新宿区のAPLA会議室で開催されるAPLA理事会に出席

25日 山梨県韮崎市で開催される、オーガニックフォーラムやまなしに出席

26日 東京都千代田区にて第25回BMW技術基礎セミナーを開催

27日 茨城県内にて茨城BMWの生産者圃場を視察

鹿児島県鹿児島市で開催されるグリーンコープかごしま50周年に出席

## ■事務局長の呟き

第35回BMW技術全国交流会の開催が11月25日〜26日に岡山で開催されることが決まりました。三美産業、グリーンコープおかやまをはじめ、実行委員会の皆さんと開催に向け一丸となつて準備を進めていく所存です。多くの皆さんに参加していただけるような全国交流会を目指していきますので、よろしく願っています。

最近1週間が8日あれば良いのと思う時があります。時間は大切に使ってくださいですね。ではまた来月、春の3月号で。

薬膳の話 145  
〜アボカド〜

2月4日の立春が過ぎると、春の養生「陽養防風」を心がけます。春の強風に潜んでいる「風邪〜ふうじゃ」は、体力や免疫力が低下していると体内に入り、発熱、咽頭痛、頭痛などの体調不良を起こします。具体的な「防風」の方法は、寒暖差に注意して背中や下半身を冷やさない、早寝早起きを心がけ適度な運動をして、陽気を助ける食材を取る事です。ショウガ、ネギ、ニンニク、パクチー、唐辛子、マグロ、鮭、エビ、鶏肉、牛肉、羊肉、クルミなどを食べましょう。

メキシコ産が大半で、春から初夏にかけて油分が多くクリーミーです。10月から1月にかけては南半球のチリ、ペルー、ニュージーランド産のものが美味しくなります。この時期は国産のアボカドも和歌山、愛媛、鹿児島などで収穫されます。買う時は、張りがあり黒みがかつていて、ヘタが付いている物、しわがなく、皮が浮いていないものを選びます。

四気は「涼」、五味は「甘、酸」、帰経は「肝臓、肝臓」です。気を補って胃腸の調子を整え、慢性的な疲労に効果があります。腸を潤し、コロコロと乾燥した便を改善します。また、美肌効果もあります。

## ●アボカドとマグロのボキ

〜ハワイのローカルフード〜

2000年から15年間で生産量は約2倍に増え、世界的に歓迎されています。

脂肪分が豊富で「森のバター」や「バターフルーツ」と呼ばれます。脂質の大半は、血中の悪玉コレステロールを下げる働きのあるオレイン酸や、必須脂肪酸のリノール酸などで、動脈硬化を予防し、悪玉コレステロールを減少させます。果物の中でカロリーが一番高く、ビタミンB1・B2を始め10種類を超えるビタミンやミネラルを豊富に含んでいます。また、カリウム含有量はバナナより多く、食物繊維も豊富です。

- ・アボカドと刺身用のマグロは一口大に切りボウルに入れる。
- ・薬味に紫玉ねぎの粗みじん切りと白ごまを加え、レモン汁1/2、醤油1、ゴマ油1/2、黒コショウ、塩、タバスコ少々を加えて和える。
- ・器に入れ、万能ねぎとパクチーを散らす。

## ◎BMW技術協会事務局 佐々木エリカ

北京中医药大学日本校薬膳養成学科卒業  
業・中医薬膳士、総合漢方研究会会員